

市内私立幼稚園の空き教室を活用し、保護者が働いているかどうかに関係なく児童を預けられる制度として、「多様な他者との関わりの機会の創出事業」を開始します。

保育所等を利用していない未就園児を定期的に預かることで、多様な他者との関わりの中でのさまざまな体験や経験を通じて、非認知能力の向上等、子どもの健やかな成長を図ることを目的とします。

➤ 事業概要

市は、該当事業を行う園に対して、事業費の補助を行う。

- 1.対象児童： 保育園や幼稚園に通っていない満2歳以上～満3歳未満の児童
- 2.利用時間： 月4回以上、1回60分以上の預かり
- 3.定員： 各園12人程度
- 4.開始時期： 令和6年9月頃予定



■対象園

市内私立幼稚園
(狛江みずほ幼稚園、狛江こだま幼稚園、子鹿幼稚園)

■補正予算額

34,904千円 (東京都補助10/10)
▽定期的な預かり事業 23,904千円(3園)
▽開設準備経費 11,000千円(3園)

■目的・効果

□子どもの成長への寄与

保護者の要件に関わらず児童を預かり、他者と関わり合う機会を創出することで、子どもの健やかな成長を図る。

□保護者への支援

保育園や幼稚園に通わず、家庭保育をしている保護者に対して、育児孤立・育児疲れといった問題を解決する場として活用する。

□幼稚園の経営支援

幼稚園における空き教室の活用手段の一環として、幼稚園に対する経営支援に繋げる。

